

## 平成 25 年度第 1 回江別市上下水道事業運営検討委員会 議事録（要旨）

日 時：平成 25 年 7 月 19 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 45 分

場 所：水道庁舎 3 階 A 会議室

出席委員：10 名

木村克輝、水野克也、小林潤、木村秀裕、笹山和子、神保順子、古川淳子、  
阿部晃治、桑名代江、山谷研次

事務局：8 名

藤田水道事業管理者、松田部長、川村次長、似鳥総務課長、久保総務課参事、  
安井水道整備課長、中田下水道施設課長、加茂財務係長

傍聴者：2 名

---

### 1. 開会

### 2. 委嘱状交付

### 3. 水道事業管理者挨拶

### 4. 委員及び説明員の紹介

委員自己紹介、説明員紹介

### 5. 委員長及び副委員長の選出について

委員長は木村克輝、副委員長は水野克也に決定。

### 6. 議事

委員長：（1）江別市上下水道事業運営検討委員会設置要綱及び上下水道事業中期経営計画策定スケジュールについて、事務局より説明願います。

総務課参事：資料 1、資料 2 により説明。

委員長：ただ今の説明について、質問等はありませんか。（なし）

（2）江別市水道事業の概要について、事務局より説明願います。

水道整備課長：江別市水道の歴史、主要な水道施設の位置、数字から見た江別市水道事業、江別市水道の水源、江別市水道ビジョンについて説明。

委員長：ただ今の説明について、質問等はありませんか。（なし）

（3）江別市公共下水道事業の概要について、事務局より説明願います。

下水道施設課長：下水道の役割、下水処理の方式、下水道事業の経緯、下水道施設、江別市下水道ビジョンについて説明。

委員長：ただ今の説明について、質問等はありませんか。（なし）

（4）江別市水道事業中期経営計画の実施状況について、事務局より説明願います。

総務課参事：資料 5 により、中期経営計画の位置づけ、計画期間、事業計画、経営基盤強化への取組、計画達成状況の公表について説明。

水道整備課長：主要施策事業、設備投資計画、江別市水道ビジョンにおける水道事業の課題、具体的な取組みについて説明。

委員長：ただ今の説明について、質問等はありませんか。

A委員： 西野幌に配水池を築造したということですが、この地域は低いような気がします、大丈夫なのでしょうか。

水道整備課長： 配水池のあるところは標高が高いので、問題ないものです。

委員長： 上江別浄水場は余裕を持って動いているということでしょうか。

水道整備課長： 給水量が減ってきていますので、上江別浄水場の方を減らしています。

委員長： それが2:1とか、3:1といった具合で推移しているとの理解でいいですか。

水道整備課長： 一日平均配水量は、約31,000立方メートルで、そのうち11,000立方メートルが上江別浄水場の数字になります。

委員長： 漏水率は何%でしょうか。

水道整備課長： 3%前後で推移しています。

委員長： 有収率が93~94%ということは、全体として3%ぐらいは料金として取れていないということですか。

総務課参事： 減額している水量となります。

委員長： (5)江別市下水道事業中期経営計画の実施状況について、事務局より説明願います。

総務課参事： 資料7により、中期経営計画の位置づけ、計画期間、事業計画、経営基盤強化への取組、計画達成状況の公表について説明。

下水道施設課長： 主要施策事業、設備投資計画、江別市下水道ビジョンにおける下水道事業の課題、具体的な取組みについて説明。

委員長： ただ今の説明について、質問等はありませんか。

B委員： 業務委託したことによって、いくら削減になっていますか。

下水道施設課長： 平成21年から平成25年までの5年間の委託で、約7,500万円の節減となっています。

B委員： 浄化センター整備事業の平成24年度と平成25年度の数字が大きくなっているのはどうしてですか。

下水道施設課長： 国の緊急経済対策に伴う措置で、浄化センターの機械棟受変電設備更新工事等を実施したものです。

委員長： 委託する目的がコスト削減で、どこを減らすかということと人件費だと思います。収支計画で職員給与費は下がっているけれど、委託料が増えて、トータルは変わっていないように思えます。

部長： 経費節減は、年1,500万円の削減ができています。他の委託料も含めた委託料全体が増えている要素があるかと思しますので、整理して次回に説明したいと思えます。

委員長： 消化ガスを積極的に活用されていますが、その活用に毎年3千万円くらい使われているようですが、メリットはあったのですか。

下水道施設課長： 北電から電気を買ったものと換算して、12年間で約7,500万円の節減がされています。

委員長： 電気全体のカバーができるのは2割というのは、上限なのでしょうか。

下水道施設課長： 発生したガスは、ほとんど使っていますので、今の2割が限度かと思われます。

委員長： (6)江別市水道事業・下水道事業中期経営計画策定に係る市民アンケート調査結

果について、事務局から説明願います。

総務課参事： 資料9により説明。

委員長： ただ今の説明について、質問等はありませんか。

C委員： アンケート回収率30%というのは、良いとはいえないのではないのでしょうか。

部長： ちょっと低いと思われま。

C委員： 専門の方にやっていただいた場合は高いでしょうが、通常は3~4割で、4割にいくと結構なものだと聞きました。

委員長： 30%の回収率の意見をこのまま民意を反映しているという考えで進めて良いとの考えですか。

部長： 1つの参考意見として使用できると考えています。

委員長： 年代層とか偏りがあつた結果になっているというのは残念な結果だと思います。

D委員： 江別市の料金は安いと分りました。基本料金というのは、そこそこで違いますが、何を基準に決めるのですか。

部長： 給水する経費の概ね3割を基本料金としています。各自治体によって経費が違いますので料金の差はありますが、3割くらいを目安とした料金体系にしている自治体が多いと思います。

D委員： 電気料金は、使用量に対する基本料金になっていると思うのですが、水道料金もたくさん使う人は基本料金をそれなりに負担してもらうような考えはないですか。

部長： 家事用以外では、口径が大きく多く使うほど、多くいただくようになっています。家事用料金では、一定の水量を超えると、単価が上がるようになっています。

E委員： 「対応について改善して欲しいこと」の中に、検針の方法とありますが、具体的にどのようなことをイメージしたのですか。

部長： 現在、4ヶ月に1度検針していますが、検針間隔を短くしたいかということです。

F委員： 江別市の防災計画では、直下型で最大震度6を想定していますが、下水道の耐震は、震度どのくらいを想定しているのでしょうか。

下水道施設課長： 下水道管の場合、震度6程度は問題ないと思いますが、更新と併せて震度のことを確認して取り進めていきたいと考えています。

委員長： (7)水道事業の次期中期経営計画の策定の考え方について、事務局から説明願います。

総務課参事： 資料10により説明。

委員長： ただ今の説明について、質問等はありませんか。

C委員： 国の補助金は1/4の補助率ですか。

水道整備課長： 1/4と1/3があります。1/4は管路で、1/3は配水池の更新・整備などです。

C委員： 下水道も同じですか。

下水道施設課長： 下水道の管路については1/2、処理場関係については5.5/10です。

C委員： 水道管と下水管の総延長は、何キロメートルでしょうか。

水道整備課長： 水道管は、約900キロメートルです。

下水道施設課長： 下水道管は、約840キロメートルです。

委員長： (8)下水道事業の次期中期経営計画策定の考え方について、事務局から説明願

ます。

総務課参事： 資料 11 によりご説明。

委員長： ただ今の説明について、質問等はありませんか。

C委員： 合流式下水道の施設を計画的に改善しようとしているのですか。また、国は合流式に変えていきなさいと言っているのですか。

下水道施設課長： 合流式下水道区域の改善は、平成 22 年度で完了しています。国は合流式下水道で川に直接流したら川が汚れるので、平成 25 年度末までに改善するようにと指導しています。

部長： 下水道は昭和 39 年の大麻団地から始まり、大麻団地は分流式ですが、昭和 41 年から直轄で始めた江別駅前地区は合流式で、昭和 46 年以降は分流式となっています。

D委員： 平成 27 年に生協の工場が来て、下水道の方は収入アップになっていますが、上水道の方は、そのまま下がりつつあるのですが、地下水を使うのですか。

部長： 地下水を使う予定です。

D委員： この辺の工場はみんなそうですか。

部長： 大量に水を使う企業は、地下水を利用するところが多い状況です。

D委員： 食品を扱うところでも、地下水で大丈夫なのでしょうか。

部長： 洗浄用が多いようです。地下水を使っても、今は浄水処理の技術が進んでいるので、企業側で処理施設を造って使用しています。

C委員： 水道水を使っただけのように何かしなくてはという全国的な水道事業体の悩みです。ある町村では、条例を制定して水源を守るという観点で、地下水は保全のために認めないとしているところもあります。

委員長： 非常に難しいですね。江別ではそういう企業が来ているということですね。

(9) その他で、事務局からお願いします。

総務課参事： 次回の委員会は、11 月 6 日（水）午後 1 時 30 分からを予定しています。

委員長： 全体を通して何か質問、意見等はありませんか。

G委員： 水や熱などを有効活用するようなことは出来ないのでしょうか。

管理者： エネルギーの有効活用については、小水力発電的なものが出来ないかなど、関係機関と検討しましたが、難しい面がありました。エネルギーの有効活用は共通の課題ですので、今後も検討していきたいと思います。

委員長： 次回の委員会で、次期中期経営計画の中において、エネルギーの回収とか、雪の融雪とか、そういった話が出てくるのではないかと思います。そのような理解でよろしいでしょうか。

部長： 今回は具体的に計画を策定して、提示したいと考えています。

委員長： これで委員会を終了します。